



2026 年 9 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 CINC
代表者名 代表取締役社長 石松 友典
(コード番号：東証グロース 4378)
問合せ先 経営管理本部本部長 岡崎 俊亮
(TEL：03-6822-3601)

AI への質問を自動で生成。AI 検索対策（GEO/LLMO）ツール
「AIsearchmap（AI サーチマップ）」のプロンプトジェネレーター機能を
大幅アップデート

当社は、AI 検索対策（GEO/LLMO/AIO/AEO）ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」において、AI への質問を自動で生成する機能「プロンプトジェネレーター」を大幅アップデートしたことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

AI への質問を自動で生成。AI 検索対策（GEO/LLMO）ツール 「AIsearchmap（AI サーチマップ）」のプロンプトジェネレーター機能を 大幅アップデート

～CINC コンサルタントの知見をシステム化し、担当者「何を計測すべき
かわからない」を解消～

株式会社 CINC（本社：東京都港区、代表取締役社長：石松友典、以下 CINC）は、AI 検索対策（GEO/LLMO/AIO/AEO）ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」において、AI への質問を自動で生成する機能「プロンプトジェネレーター」を大幅アップデートしました。

AI 検索対策の成果を正しく把握して PDCA を回すためには、「どのような質問（プロンプト）を定点観測すべきか」を適切に設計する必要があります。今回、CINC の AI 検索対策コンサルタントの知見をもとに、プロンプト生成の仕組みをゼロから再構築。自社サイトの情報から AI が「主軸」「比較軸」「ターゲット」「エリア」などを提案し、ユーザーが選択・調整することで、定点観測に適したプロンプトを効率的に設計・登録できます。専門知識がなくても、自社に適した AI 検索対策のモニタリングをスムーズに開始できる環境を提供します。



AIsearchmap

AI検索最適化（GEO/LLMO）の現在地を
分析・モニタリングするツール

プロンプト ジェネレーター機能を 全面アップデート

CINCコンサルタントの知見をシステム化し、
「何を計測すべきかわからない」を解消

Powered by **CINC**

AIsearchmap（AI サーチマップ）とは？

「AIsearchmap（AI サーチマップ）」は、ChatGPT、Gemini、Perplexity、Google の AI Mode・AI Overviews など、主要 AI がユーザーの質問に対して出力する回答を自動で収集・解析し、自社や競合ブランドの AI 検索上における露出状況を可視化・モニタリングする AI 検索対策（GEO/LLMO/AIO/AEO）ツールです。

自社・競合ブランドが AI の回答内でどの程度言及されているかを示す「SoV（Share of Voice＝言及シェア）」や、回答生成時に参照された「引用ドメイン」などを可視化。さらに、実際の AI 回答を確認

することで、自社がどのような文脈や比較軸で推奨されているかを分析できます。

AI 検索対策に必要なデータ収集・競合比較・定点観測を効率化し、「AI から自社がどのように認識・評価されているのか」という現在地の把握、および効果検証の支援、施策実行のヒントとなるデータを提供します。

プロンプトジェネレーターとは？

「プロンプトジェネレーター」は、AIsearchmap で定点観測する質問（プロンプト）の設計・登録を自動で支援する機能です。

AI 検索上における自社の露出状況を正しく捉えるには、ユーザーが実際に AI へ問いかけることを想定した複数のプロンプトを設定し、その回答を継続的に観測する必要があります。

今回のアップデートでは、従来の「登録したドメインをもとに AI が直接プロンプト文章を生成する」仕組みから、「何を軸に AI へ質問するのか」を先に設計し、その組み合わせからプロンプトを生成する仕組みへ全面的に刷新しました。

CINC の AI 検索対策コンサルタントが実際の支援で培ったプロンプト選定の知見をロジックに反映することで、専門知識がなくても、AI 検索上で定点観測すべきプロンプトを効率的に設計・登録できます。単にプロンプトの作成を効率化するだけでなく、適切なプロンプトを設定することで、AI 検索上における自社・競合の現在地をより正しく把握し、その後の施策立案や効果検証につなげることが可能になります。

開発背景：AI 検索対策に立ちはだかる「何を質問・計測すればよいかわからない」という壁

ChatGPT をはじめとした生成 AI の普及により、ユーザーの情報収集行動は、検索エンジンで複数の Web ページを探す方法だけでなく、AI に直接質問し、回答や推奨を得る方法へと広がっています。

こうした変化に伴い、企業にとって、AI が自社を認識しているか、競合と比較してどの程度推奨しているかを把握し、改善する AI 検索対策（GEO/LLMO/AIO/AEO）の重要性が高まっています。

AI 検索対策を効率的に進めていくためには、各種 AI の回答を定点で観測（モニタリング）する必要があります。しかし、AI 回答における自社や競合の露出状況をモニタリングするには、その前段階として「どのようなプロンプトをウォッチすべきか」を適切に設計しなければなりません。

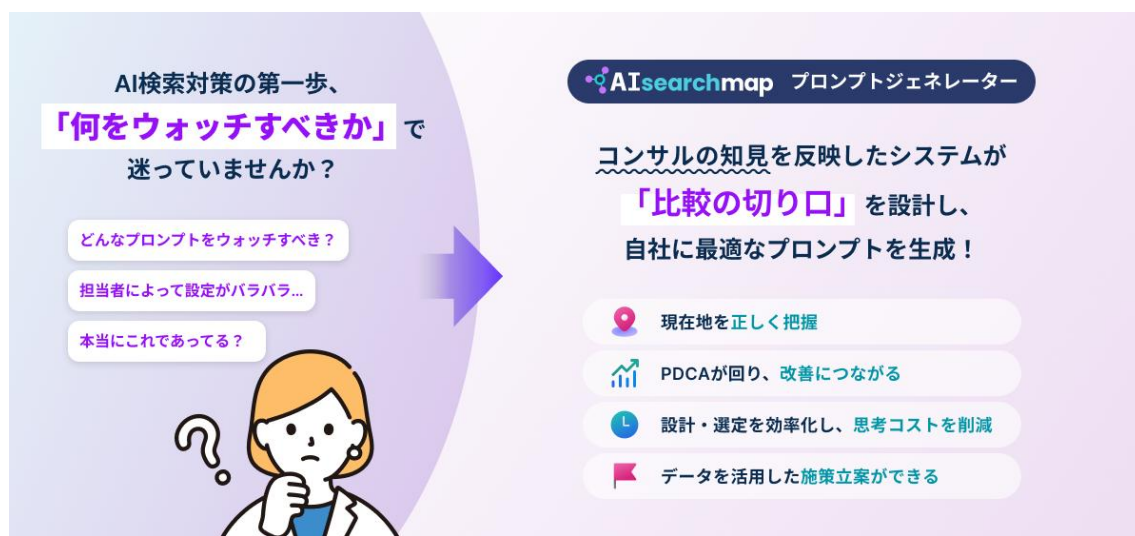
AI 検索対策の効果検証において、最も重要な要素の一つが「何を計測するか」です。プロンプトは、SEO における対策キーワードにも相当する重要な要素であり、どのプロンプトを設定するかによって、観測できる AI 検索上の自社・競合の露出状況や評価は変わります。自社の事業やターゲットに適していないプロンプトを設定すると、現在地を適切に把握できず、そのデータを起点とする施策立案や効果検証にも影響する可能性があります。そのため、AI 検索対策の PDCA を適切に回すには、その起点となるプロンプトの設計が重要です。

例えば、自社のサービスについて計測する場合でも、「おすすめのサービス」という主軸だけでなく、「価格」「実績」「使いやすさ」といった比較の切り口や、ターゲット、エリアなどによって、AI への

質問は多岐にわたります。

従来のプロンプトジェネレーターでは、登録ドメインの情報から AI が直接プロンプトを生成していたため、生成内容をユーザー側でコントロールしづらく、多数の候補から計測すべきプロンプトを 1 件ずつ選定する必要がありました。

そこで CINC は、AI 検索対策コンサルティングの実務で培ってきた「どのような切り口で市場を捉え、どのようなプロンプトを定点観測すべきか」という知見を活用し、プロンプトジェネレーターの生成ロジックをゼロから再構築しました。コンサルティングの現場で蓄積してきたプロンプト設計・選定のノウハウをシステムに反映することで、適切な現状把握と、その後の施策立案・効果検証につながるプロンプトを、専門知識がない担当者でも設計できる環境を目指しました。



「プロンプトジェネレーター」のアップデート内容

今回のアップデートでは、AI がいきなり完成したプロンプトを生成するのではなく、「軸の設計 → ユーザーによる選択・調整 → プロンプト生成・登録」というステップを採用しました。

1. AI がプロンプトを構成する「軸」を自動提案

自社サイトの情報をもとに AI が事業やサービスの特徴を分析し、プロンプトを構成する以下のような軸をサジェストします。

- 主軸：どの市場・サービスカテゴリーについて質問するか
- 比較軸：どのような特徴や強みを基準に比較するか
- ターゲット：どのようなユーザーを想定するか
- エリア：どの地域を対象とするか

ユーザーは AI が提示した候補を画面上で確認し、自社の事業戦略やモニタリング目的に応じて必要な軸を選択・調整できます。

AI 任せで質問文を直接生成するのではなく、プロンプトを構成する前段階の「比較の切り口」を可視化することで、ユーザー自身が意図を反映しながらプロンプトを設計できます。

2. 選択した軸からプロンプトパターンを自動生成

選択した主軸・比較軸・ターゲット・エリアなどをもとに、システムが組み合わせを調整し、AI 検索上で定点観測するためのプロンプトパターンを生成します。

生成ロジックには、CINC の AI 検索対策コンサルタントが実務で培った知見を反映。プロンプトをゼロから考える必要がなく、専門知識を持たない担当者でも、一定の考え方に基づいた再現性のあるモニタリング設計が可能になります。

3. 登録件数に合わせた選定作業を効率化

従来は、多数生成されたプロンプト候補の中から、ユーザー自身がプランの登録上限などに合わせて 1 件ずつ内容を確認・選択する必要がありました。

アップデート後は、Step1 の軸選択と Step2 のプロンプトパターン選択によって、生成・登録するプロンプト数を調整できます。

これにより、多数の質問文を個別に比較する作業を減らし、限られた登録枠の中で自社が観測したい領域に合わせたプロンプト設定を効率的に進められます。

「プロンプトジェネレーター」の価値・メリット

1. AI 検索対策の起点となる「何を計測するか」の精度を高める

AI 検索対策では、単に AI へ質問すればよいのではなく、自社の市場や強み、ターゲットなどを踏まえ、「何を計測するか」を適切に設計することが重要です。

プロンプトジェネレーターがその設計を支援することで、担当者がゼロから質問を考える思考コストを削減するとともに、自社の事業やモニタリング目的に沿ったプロンプトを設定しやすくなります。

適切なプロンプトを起点に継続的な定点観測を行うことで、AI 検索上における自社・競合の現在地を正しく把握し、そのデータを施策の優先順位付けや改善、効果検証につなげることができます。今回のアップデートにより、「何を計測すべきかわからない」という迷いを解消し、より精度の高いデータドリブンな AI 検索対策の土台づくりを支援します。

2. コンサルタントの知見をシステム化し、プロンプト設計の属人性を排除

AI 検索対策支援の実績が豊富な CINC のコンサルタントが培ったプロンプト選定の考え方を生成ロジックへ反映しています。

担当者個人の知識や経験だけに頼るのではなく、一定のロジックに基づいてプロンプトを設計することで、専門知識がない企業でもプロ品質の観測設定を行いやすくし、AI 検索モニタリングの再現性を高めます。

3. プロンプトの設計・選定を効率化し、GEO・LLMO 対策の自走を支援

軸の提案からプロンプト生成、登録までを一連の流れで支援することで、プロンプトを 1 件ずつ作成・比較・選定する作業を効率化します。

これにより担当者は、設定作業そのものではなく、AI 検索上における自社のシェア、推奨状況、推奨される理由、競合との違いといったデータの分析と改善施策に時間を使えるようになります。

AI 検索対策の初期設定における、施策の実行ハードルを下げ、企業がインハウスで継続的かつデータド

リブンに GEO・LLMO 対策を推進できる環境づくりを支援します。

■AIssearchmap のご利用は、以下からお申し込みください。

▶[AIssearchmap のフリープランに申し込む](#)

<https://aissearchmap.cinc-j.co.jp/aissearchmap-free-pr>

▶[AIssearchmap のエンタープライズプランについて問い合わせる](#)

<https://aissearchmap.cinc-j.co.jp/aissearchmap-enterprise-contact>

【会社概要】

「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC（シンク）（東証グロース 証券コード：4378）

代表者：代表取締役社長 石松友典

設立：2014 年 4 月

本社：東京都港区虎ノ門 1 丁目 21-19 東急虎ノ門ビル 6 階

事業内容：

- （１）ソリューション事業
- （２）アナリティクス事業
- （３）M&A 仲介事業（株式会社 CINC Capital）

会社ホームページ：<https://www.cinc-j.co.jp>

SEO・GEO ツール『Keywordmap』：<https://keywordmap.jp/>

採用情報：<https://www.cinc-j.co.jp/recruit/>

運営メディア「Marketing Native」：<https://marketingnative.jp/>

Tech Blog：<https://cincdevteam.hatenablog.com/>